

## <これまでの成果>

- 学校図書館サポーター（有償ボランティア）・学校司書を配置
  - 来館者・貸出冊数の増加
  - 授業における学校図書館の活用等の増加

- 「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたり、どのくらい読書を読みますか」30分以上読書していると答えた児童生徒の割合が増加
  - 小6:H29年度 30.3% ⇒ H30年度 32.5%
  - 中3:H29年度 22.1% ⇒ H30年度 23.6% (全国学力・学習状況調査)

## <国の動き>

- 学校図書館法の改正（H27.4施行）
- 学校図書館整備5か年計画（H29～）

## いつでも「開いている・使える・人がいる」学校図書館づくり と 読書習慣の育成

### 学校図書館サポーターの配置（49,608千円）

学校図書館サポーター

研修による  
資質の向上

名称	学校図書館サポーター
活用方法	人材バンクシステムに登録し、各学校が依頼する
活動内容	・貸出や環境整備 ・読み聞かせ 等
時間・謝礼金	1回3時間程度 2,400円
活動回数	小 週5.7回 中 週2回
資質向上	研修・巡回訪問を実施

### 学校司書・学校図書館サポーターの資質向上（175千円）



### 学校司書の配置（A 14,618千円）（B 38,808千円） A：学校図書館職員 B：学校司書

学校図書館職員

5小中学校

学校司書

40中学校  
87小学校

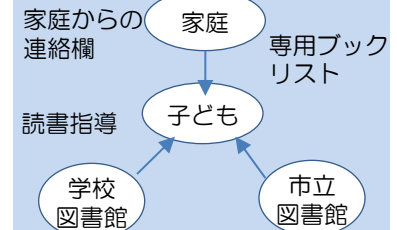
#### ◆「学校図書館職員(OB非常勤職員)」を拠点校に配置（5小中学校）

- 資格要件  
有（教員経験、司書または司書教諭の免許）
  - 活動内容  
①専門知識を生かした読書指導、学習支援等  
②担当区域内の学校への巡回訪問指導
- ※ 拠点校は、これまで来館者数や貸出冊数の増加の他、巡回訪問、研修講師等を通して他校の学校図書館教育の推進に寄与している

#### ◆「学校司書(非常勤職員)」を44名配置（40中学校）(87小学校)

- 資格要件  
有（司書または司書補、司書教諭の免許、学校図書館サポーターとしての活動実績）
  - 活動内容  
専門知識を生かした読書指導、学習支援等
- ※ 拠点校の学校図書館職員の退職にともない、随時学校司書配置へ移行させていく

### 読書ノート（1,382千円）



### 司書教諭の資質向上

- ◆司書教諭研修
- 学校司書・学校図書館サポーターとの効果的な連携・学校図書館の授業での活用について、研修

### 市立図書館との連携

## <期待される効果>

- ・学校図書館職員、学校司書、学校図書館サポーター等の人員配置により、「学校図書館にいつでも人がいる」状態をつくることで、児童生徒の読書活動や学習活動が促進される。
- ・全小中学校対象に、学校図書館職員による巡回訪問指導を実施することにより、学校の個別課題に即した指導助言が可能になり、児童生徒が使いやすい学校図書館の環境が整う。